

「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト ~いつでも どこでも 誰でもが学べる場へ~

授業づくり講座 in 安芸市立清水ケ丘中学校

【教材研究会】令和3年8月25日
【授業研究会】令和3年10月12日

他教科のレポートも掲載中！
HPをご参照ください。
発行:令和3年12月 東部教育事務所



英語科3つの視点

- 1 言語活動を通じた単元づくり ~指導と評価の一体化~
- 2 授業力の向上 ~教材分析と授業省察~
- 3 人のつながり、学びの高まりの構築 ~他者との交流から学びの質を高める講座~

清水ケ丘中英語科の授業づくりのプロセス —資質・能力の育成に向けた単元や授業のデザイン—

学習指導要領の解釈
【書くこと ウ】社会的な話題に関して、聞いたこと、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

生徒の実態の把握
〈課題〉●文法に限られている。
●表現する内容につながりがない。
●目的・場面・状況に応じていない文章が見られる。

教科書の有効活用
環境に関する記事を読んで、自分の考えやその理由を伝えるために、投稿文を書く。

見方・考え方の成長
自分の考えを読み手により分かりやすく伝えるためには、どのような内容や表現を用いて書けばいいのか常に問いを持ち続け、それを解決していく中で、見方考え方も成長していく。

目の前の子供たちに必要とされる学びをいかに描くか、学習指導要領や教科書を解釈するところから始め、このようなプロセスを経て単元をデザインしています。

清水ケ丘中学校の提案

第3学年 Unit5 「A Legacy for Peace」(NEW HORIZON English Course3 東京書籍)

【領域別目標】 「書くこと」(ウ)

【Can-Do リスト形式の学習到達目標】

【書くこと ウ 第3学年③】社会的な話題に関して聞いたこと、読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて30~45語程度で書くことができる。

【単元目標】

SDGsCLUBの「みんなの行動宣言」の投稿文に返信を書くために、投稿文を読んで簡単な語句や文を用いて自分の考えを理由と共に書くことができる。

授業者 吉田 来依可 教諭

具体的なゴールの姿

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9
								本時	パフォーマンステスト
言語活動	ガンディーについての紹介文や対話文の理解を通して、新出表現や新出語句を確認し、簡単な語句や文を用いて自分の考えを理由とともに伝えて書く。		ガンディーの伝記やガンディーの伝記について書かれた投稿文について読み、自分の考えを理由とともに伝えるために、読んだことについて簡単な語句や文を用いて書く。		SDGsに関する話題について書かれた投稿文を読み、自分の考えを理由とともに伝えるために、読んだことについて簡単な語句や文を用いて言語面や内容面に着目して投稿文を書く。				
見方・考え方	自分の考えを理由とともに書くためにはどのような内容、表現を用いればよいかを考えている姿。		新出表現や語句を理解し、活用しようとする姿。 分かりやすく自分の考えを理由とともに述べるために、どのような内容にして、表現を用いればよいか、精選している姿。 自分の文章を見直し、再構成している姿。		分かりやすく自分の考えを理由とともに伝えるために、どのような内容や表現を用いればよいか、精選している姿。 自分の文章を見直し、再構成している姿。				

＜パフォーマンステストB詳細の例＞
I think global warming is a big problem because it affects our safety and the safety of the animals on Earth. We must stop destroying the Earth.
I'll tell you two ideas.
First, we should make efforts to reduce CO2. For example, we should use public transportations more. According to the article, scientists say that it is now increasing by 0.2 degrees Celsius every ten years.
Second, we should use renewable energy and we should not use too much electricity. We can turn off the lights if we are not using them.
I think we should take actions to save the Earth.

ゴールの生徒の具体的な姿から指導の視点を明確にし、生徒たちの学習状況を把握しながら単元を通して資質・能力の育成を目指しました。

教材研究会

- 協議の視点①単元目標につながる単元計画となっているか。
②見方・考え方を働かせる展開となっているか。

協議・参加者リフレクションより

- ・単元づくりのプロセスが参考になった。1時間の流れも言語活動や中間指導がバランスよく設定されており、目標に近づいていける計画だと感じた。
- ・生徒の実態に合わせたより身近な話題で考えさせたほうが、生徒もより見方・考え方を働かせることができるのではないかと。
- ・読んだことについて書く言語活動を行うが、領域「書く」の力を育む単元である。言語活動で扱う読む資料の内容や分量が適切かどうかもう一度検討してはどうか。

教材研究会の学びから（英語科より）

- ・単元の中で扱う話題をより生徒にとって身近なものにする。
- ・生徒が読む資料の内容や文章量を再検討。目的に応じた読み取りの指導も行う。

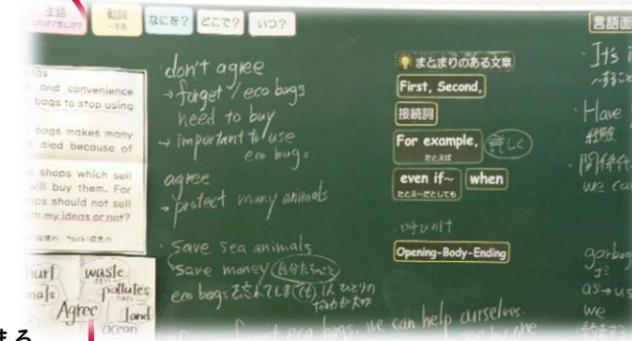


授業研究会

協議の視点 見方・考え方を働かせていたか。また、その成長はあったか。

協議より

- 生徒が思考を止めることなく取り組めたのは、sharingが考えを深めるために効果的だったからではないか。
- 視点を明確に指導を行い生徒に思考させていた。またスモールステップでspeakingで考えを交流したり、1時間で数回書かせたのがよかった。
- 投稿文を読み、読んだことについて全員が自分の意見を理由とともに書いていた。板書が生徒にとって役に立っていた。
- 相手意識が弱かったのではないかと。
- テーマについて意見文を書く技能は全体的についているが、書きぶりが定型になっていた。全体共有で、内容に踏み込む問いかけがあれば深さらにまるのではないかと。



文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 山田 誠志 先生より

「単元のまとまりを通して資質・能力の育成を図る」

社会的話題を扱ったり、読んだことに対して話す、あるいは書くような技能統合の言語活動について、担当している生徒たちには難しいのでは…と感じることもあるかもしれないが、いかにできるようにするかを考えると大切である。言語の習得には時間がかかる。最終的にはフレームがなくても生徒ができるようになっていくのだが、1時間でその力をつけるのは難しい。だから、単元ゴールと同様の言語活動を繰り返して、単元を通して指導をしていくことが大切である。清水ケ丘中学校の単元計画も参考になるので今一度確認してはどうか。また単元を通して指導するために、まず単元ゴールの言語活動を定める必要がある。その際、題材や言語材料とともに教科書の各単元の最終ページも活用するとよいのではないかと。

「知識をしっかりと定着させてから？」

知識をしっかりと定着させてからでないと生徒は活動できないのではないかと、という声がかかることがあるが、どうしたら知識は定着するのだろうか。知識を理解しているという際の「理解」とは「形」「意味」「使い方」を理解しているということであり、「使い方」は使わせないと身に付かない。文法説明をしてから言語活動をするのではなく、場面設定をし、文脈の中で、使い方の分かる導入を工夫することが必要である。場面や文脈の中で導入する→使わせる→評価する。使わせながら定着を図っていくとよい。

「思考・判断・表現…何を表現させる？」

「話すこと」と「書くこと」表現における「思考・判断・表現」は何を思考させるのかということ、ある目的・場面・状況に応じて何を伝えたいのかを思考させることである。思考・判断・表現を評価する際は目的・場面に応じた表現内容の適切さを評価するので、適切かどうか判断する目的・場面・状況が必要となる。つまり、授業の中で目的・場面・状況を設定し言語活動を行い、指導をしていくことが生徒に力を付けていく上で大切になる。

参加者の声

- ・小中の接続を意識した授業づくりをすることが求められることを再認識した。
- ・型や表現方法を与えなくても書ける（話せる）力を身に付ける単元構想をしていかななくてはならないと勉強になった。
- ・Sharing Timeが効果的で、生徒の深まりが見られた。生徒が考えたい問の設定や、指導と評価の一体化を図り、生徒に力を付けるための授業づくりをしていきたい。

